



## 2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月13日

上場会社名 株式会社エス・サイエンス  
コード番号 5721 URL <http://www.s-science.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 品田 守敏  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 甲佐 邦彦 TEL 03-3573-3721  
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日

配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	1,544	13.5	278		282		426	
2023年3月期	1,360	17.7	117		93		105	

(注) 包括利益 2024年3月期 380百万円 ( %) 2023年3月期 59百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	3.01		15.1	9.1	18.1
2023年3月期	0.75		4.0	3.2	8.6

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	3,274	3,010	91.9	21.26
2023年3月期	2,947	2,630	89.3	18.58

(参考) 自己資本 2024年3月期 3,010百万円 2023年3月期 2,630百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	149	1,093	0	2,232
2023年3月期	142	289	0	1,288

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		0.00		0.00	0.00	0		0.0
2024年3月期		0.00		0.00	0.00	0		0.0
2025年3月期(予想)								

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	650	30.6	105		105		110		0.78
通期	1,500	10.3	180		180		190		1.34

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	141,593,749 株	2023年3月期	141,593,749 株
期末自己株式数	2024年3月期	2,167 株	2023年3月期	2,167 株
期中平均株式数	2024年3月期	141,591,582 株	2023年3月期	141,591,609 株

(参考)個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	718	10.9	311		243	319.9	389	425.0
2023年3月期	806	6.8	130		110		119	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	2.75	
2023年3月期	0.85	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	3,122	2,967	95.0	20.96
2023年3月期	2,777	2,624	94.5	18.53

(参考) 自己資本 2024年3月期 2,967百万円 2023年3月期 2,624百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	300	31.0	120		125		0.88
通期	1,100	53.2	210		220		1.55

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況、(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
(6) 利益配当に関する基本方針及び当期・次期配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、社会経済活動の正常化が一段と進み、個人消費やインバウンド需要が持ち直したことによって景気は回復傾向となったものの、ウクライナ情勢の長期化やイスラエル等の中東情勢の地政学リスクによる、エネルギー価格及び原材料価格の高騰、中国経済の停滞に加え、欧米諸国での政策金利の引き上げや、それに伴う為替相場の変動など依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高15億44百万円(前年同期売上高13億60百万円)、営業損失2億78百万円(前年同期営業損失1億17百万円)となりましたが、有価証券運用益5億52百万円、受取配当金9百万円等を営業外収益に計上したことにより、経常利益2億82百万円(前年同期経常損失93百万円)となり、投資有価証券売却益1億47百万円等を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は4億26百万円(前年同期当期純損失1億5百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (ニッケル事業)

前年同期に比べLMEのニッケル価格が大幅に下落したことにより販売価額も落ち込んだため、売上高は6億40百万円(前年同期7億96百万円 19.6%減)となりました。

#### (不動産事業)

販売用不動産の売却があったため、売上高は78百万円(前年同期10百万円 635.2%増)となりました。

#### (教育事業)

売上はありませんでした。(前年同期 売上なし)

#### (リフォーム関連事業)

コロナ禍前の通常の営業活動が出来るようになったため、売上高は8億25百万円(前年同期5億53百万円 49.1%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当連結会計年度末の資産につきましては、流動資産は31億27百万円となり、主な内訳は現金及び預金18億33百万円、商品6億39百万円であります。

固定資産は、1億47百万円となり、主な内訳は敷金及び保証金52百万円等であります。

##### (負債)

当連結会計年度末の負債につきましては、流動負債は1億45百万円となり、主な内訳は支払手形及び買掛金86百万円、未払金22百万円であります。

##### (純資産)

当連結会計年度末の純資産につきましては、30億10百万円となり、主な内訳は資本剰余金25億97百万円等であります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、22億32百万円となりました。

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況と増減の要因は、以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における業活動により減少した資金は、1億49百万円となりました。

これは主に、前年同期に比べ前渡金、仕入債務、契約負債の減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における投資活動により増加した資金は、10億93百万円となりました。  
これは主に、信用取引決済による収入及び投資有価証券の売却等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における財務活動による資金の増減は、ほぼありませんでした。

## (参考)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率	93.2	89.1	91.5	89.3	91.9
時価ベースの 自己資本比率	154.3	214.7	178.2	120.1	108.1

## (注) 1. 上記指数の算出方法

自己資本比率 : 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

- 株式時価総額は、期末株価終値 × 期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
- 当社は、有利子負債がありませんので、キャッシュ・フロー対有利子負債比率、インタレスト・ガバレッジ・レシオは記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

2025年3月期のわが国経済は、個人消費が賃金上昇により徐々に回復傾向になると期待される一方、中国経済の不況、不安定な国際情勢、資源・原材料価格の高騰、急激な為替変動等があり、先行き不透明な状況が続くと思われれます。

ニッケル事業では、LME価格が急激な為替の変動により仕入コスト増となり、厳しい事業環境となっておりますが、海外のニッケル動向にも注視しながら収益の確保に努めてまいります。

不動産事業につきましては、引き続き販売用不動産の売却に注力し営業促進に努めてまいります。

リフォーム関連事業につきましては、幅広く営業活動を展開し収益確保に努めてまいります。

以上により、2025年3月期の連結業績は、売上高15億円、営業利益△1億80百万円、経常利益△1億80百万円、親会社株主に帰属する当期純利益△1億90百万円と見込んでおります。

## (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前期2023年3月期に営業損失やマイナスの営業キャッシュ・フローを計上しました。2024年3月期においても、売上増や営業利益の黒字化を目指して取り組んでおりましたが、中国経済の停滞や原材料価格の高騰等により想像以上に売上の回復が遅れ、2024年3月期においても、当社グループとして営業損失を計上しております。

このため、「継続的な営業損失又は営業キャッシュ・フローのマイナス」となり、2024年3月期においても、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しております。当社グループは、この状況を改善するために有価証券を売却し、売却益を得ました。

そのため、継続企業の前提に関する注記の必要は無いものと判断しております。

## (6) 利益配当に関する基本方針及び当期・次期配当

当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題に位置付けており、経営の改善と業務の効率化に努め、企業価値の向上に図るべく進めてまいりましたが、現在の経営状態を鑑み、当期の配当につきましては誠に遺憾ではありますが、期末配当につきましても見送ることとさせていただきます。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

現在、当社グループの事業は国内に限定されているため、現時点の判断として、将来における海外での事業展開及び国際的な資金調達の要否を考慮した結果、当面は日本基準による決算を採用しますが、今後の資本市場の動向株主をはじめとするステークホルダーの要請を考慮し、I F R S (国際財務報告基準) 採用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,303,533	1,833,534
預け金	4,409	418,816
受取手形、売掛金及び契約資産	226,239	208,747
有価証券	7,695	-
商品	691,614	639,110
仕掛品	22,689	1,406
その他	84,975	26,140
貸倒引当金	△46	△681
流動資産合計	2,341,111	3,127,074
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	15,912	15,696
減価償却累計額	△13,704	△14,557
機械装置及び運搬具(純額)	2,208	1,138
工具、器具及び備品	756	756
減価償却累計額	△670	△713
工具、器具及び備品(純額)	85	42
有形固定資産合計	2,294	1,181
無形固定資産		
その他	342	267
無形固定資産合計	342	267
投資その他の資産		
投資有価証券	467,824	1,174
長期貸付金	2,400	2,400
敷金及び保証金	52,263	52,198
会員権	19,308	19,308
長期未収入金	50,375	49,692
破産更生債権等	14,618	14,498
その他	67,624	76,672
貸倒引当金	△70,594	△69,791
投資その他の資産合計	603,821	146,153
固定資産合計	606,458	147,603
資産合計	2,947,570	3,274,677

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	131,103	86,470
短期借入金	3,000	3,000
未払金	11,789	22,864
未払法人税等	8,909	7,452
契約負債	31,080	-
賞与引当金	2,158	2,346
役員賞与引当金	-	3,600
その他	19,048	19,443
流動負債合計	207,089	145,177
固定負債		
役員退職慰労引当金	68,910	100,450
退職給付に係る負債	13,677	15,497
資産除去債務	591	591
繰延税金負債	24,731	254
その他	1,800	1,800
固定負債合計	109,710	118,593
負債合計	316,800	263,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,597,570	2,597,570
利益剰余金	△113,474	312,949
自己株式	△94	△94
株主資本合計	2,584,002	3,010,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,767	481
その他の包括利益累計額合計	46,767	481
純資産合計	2,630,769	3,010,907
負債純資産合計	2,947,570	3,274,677



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,360,625	1,544,385
売上原価	1,130,760	1,423,163
売上総利益	229,864	121,222
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	9,978	9,148
貸倒引当金繰入額	-	402
役員報酬	60,240	70,720
給料及び手当	57,911	67,637
賞与	3,789	11,132
賞与引当金繰入額	2,158	2,346
役員賞与引当金繰入額	-	3,600
退職給付費用	1,822	1,819
役員退職慰労引当金繰入額	2,870	31,540
租税公課	15,079	13,536
支払手数料	44,571	44,280
賃借料	42,608	41,010
減価償却費	1,535	1,414
その他	104,523	101,532
販売費及び一般管理費合計	347,087	400,119
営業損失(△)	△117,222	△278,896
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	14,257	9,025
有価証券運用益	660	552,893
受取賃貸料	40	40
物品売却益	1,064	-
固定資産処分益	2,345	-
貸倒引当金戻入額	10	-
その他	6,108	6,085
営業外収益合計	24,488	568,046
営業外費用		
支払利息	27	6,752
その他	662	-
営業外費用合計	689	6,752
経常利益又は経常損失(△)	△93,423	282,397
特別利益		
投資有価証券売却益	2,496	147,789
受取和解金	593	4,000
特別利益合計	3,089	151,789
特別損失		
固定資産除却損	6,272	8
子会社株式評価損	-	403
訴訟関連損失	-	1,500
特別損失合計	6,272	1,911
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△96,607	432,275

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
法人税、住民税及び事業税	8,909	5,851
法人税等合計	8,909	5,851
当期純利益又は当期純損失(△)	△105,516	426,423
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	△105,516	426,423

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△105,516	426,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,376	△46,286
その他の包括利益合計	46,376	△46,286
包括利益	△59,139	380,137
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△59,139	380,137
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,111,932	1,433,245	△855,565	△93	2,689,518
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△105,516		△105,516
減資	△2,011,932	2,011,932			-
欠損填補		△847,607	847,607		-
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	△2,011,932	1,164,324	742,091	△0	△105,516
当期末残高	100,000	2,597,570	△113,474	△94	2,584,002

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	390	390	2,689,909
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△105,516
減資			-
欠損填補			-
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	46,376	46,376	46,376
当期変動額合計	46,376	46,376	△59,139
当期末残高	46,767	46,767	2,630,769

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	2,597,570	△113,474	△94	2,584,002
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			426,423		426,423
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	426,423	-	426,423
当期末残高	100,000	2,597,570	312,949	△94	3,010,425

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	46,767	46,767	2,630,769
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			426,423
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△46,286	△46,286	△46,286
当期変動額合計	△46,286	△46,286	380,137
当期末残高	481	481	3,010,907

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△96,607	432,275
減価償却費	1,535	1,414
子会社株式評価損	-	403
有価証券売却損益(△は益)	-	△552,893
有価証券評価損益(△は益)	△660	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,496	△147,789
受取利息及び受取配当金	△14,258	△9,027
支払利息	-	6,752
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,822	1,819
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,870	31,540
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	△167
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	490	386
売上債権の増減額(△は増加)	38,270	17,491
仕入債務の増減額(△は減少)	39,523	△44,633
棚卸資産の増減額(△は増加)	△70,210	73,349
前渡金の増減額(△は増加)	△75,318	75,318
前払費用の増減額(△は増加)	1,299	△333
未収入金の増減額(△は増加)	5,146	1,105
預け金の増減額(△は増加)	△1,465	△267
未払金の増減額(△は減少)	1,748	11,089
未払費用の増減額(△は減少)	308	3,098
預り金の増減額(△は減少)	60	3,131
契約負債の増減額(△は減少)	23,278	△31,080
未収又は未払消費税等の増減額(△は減少)	30,300	△22,632
未払法人税等の増減額(△は減少)	△37,753	2,961
その他	3,974	5,843
小計	△148,150	△140,845
利息及び配当金の受取額	11,778	7,644
法人税等の支払額	△6,042	△9,785
利息の支払額	-	△6,752
営業活動によるキャッシュ・フロー	△142,414	△149,738
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△38,000	△8,000
有形固定資産の売却による収入	136,228	-
有形固定資産の取得による支出	-	△227
無形固定資産の取得による支出	△373	-
有価証券の純増減額(△は増加)	-	9,578
投資有価証券の売却による収入	3,996	542,947
投資有価証券の取得による支出	△395,364	-
出資金の回収による収入	20	-
敷金及び保証金の回収による収入	9,754	100
敷金及び保証金の差入による支出	△85	△34
信用取引に係る資産及び負債の増減額	-	550,971
その他	△5,371	△1,444
投資活動によるキャッシュ・フロー	△289,195	1,093,890

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△10	△13
株式の発行による収入	-	-
その他	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10	△13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△431,620	944,139
現金及び現金同等物の期首残高	1,720,154	1,288,533
現金及び現金同等物の期末残高	1,288,533	2,232,672

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 201年6月17日 以下「時価算定会計基準適用指針」という)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

### 1 報告セグメントの概要

#### (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分類された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するため、定期的に検討を行なう対象となっているものであります。

当社は、東京(本社)、横浜及び大阪に製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社は事業部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「ニッケル事業部」、「不動産事業部」、「教育事業部」、「スーパーマーケット関連事業」及び「リフォーム関連事業」の5つを報告セグメントとしております。「ニッケル事業」、ニッケル地金及びニッケル塩類の販売をしております。「不動産事業」は、不動産の販売、賃貸及び仲介をしております。「教育事業」は、2018年12月から全面的にFC化へ変更しましたが前期にて契約が終了しております。「スーパーマーケット関連事業」は2022年5月の取締役会で休止することとなりました。「リフォーム関連事業」は、リフォーム事業他を行なっております。

#### (2) 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より「スーパーマーケット関連事業」の休止に伴い量的重要性が減少したため、「スーパーマーケット関連事業」を「その他」セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の報告セグメント区分に基づき作成しております。

### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。なお、事業セグメントに対する固定資産の配分基準と関連する減価償却費の配分基準は異なっております。



## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位 : 千円)

	報告セグメント				その他	合計
	ニッケル事業	不動産事業	教育事業	リフォーム 関連事業		
売上高						
外部顧客への売上高	796,098	10,693	—	553,834	—	1,360,625
計	796,098	10,693	—	553,834	—	1,360,625
セグメント利益又は 損失(△)	134,824	△17,768	△19,667	13,075	△7,267	103,196
セグメント資産	513,591	414,734	26,012	219,728	—	1,174,066
その他の項目						
減価償却費	—	—	310	31	—	341
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	—	—	—	373	—	373

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位 : 千円)

	報告セグメント				その他	合計
	ニッケル事業	不動産事業	教育事業	リフォーム 関連事業		
売上高						
外部顧客への売上高	640,095	78,614	—	825,675	—	1,544,385
計	640,095	78,614	—	825,675	—	1,544,385
セグメント利益又は損失 (△)	△24,030	△2,523	△17,727	32,682	—	△11,600
セグメント資産	424,773	351,071	26,376	202,422	—	1,004,643
その他の項目						
減価償却費	—	—	—	264	—	264
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	—	—	—	227	—	227

## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単価 : 千円)

利益	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
報告セグメント	103,196	△11,600
全社費用(注)	△220,419	△267,296
連結財務諸表の営業損失(△)	△117,222	△278,896

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単価 : 千円)

資産	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
報告セグメント	1,174,066	1,004,643
全社資産(注)	1,773,503	2,270,034
連結財務諸表の資産合計	2,947,570	3,274,677

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない預金・有価証券等であります。

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位 : 千円)

その他の項目	報告セグメント	調整額	連結財務諸表計上額
	当連結会計年度	当連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	341	1,193	1,535
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	373	—	373

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位 : 千円)

その他の項目	報告セグメント	調整額	連結財務諸表計上額
	当連結会計年度	当連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	264	1,150	1,414
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	227	—	227

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位 : 千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
南海ビルサービス(株)	179,687	リフォーム関連事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	18.58円	21.26円
1株当たり当期純利益	△0.75円	3.01円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益又は当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 当期純損失(△)	△105,516千円	426,423千円
通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失(△)	△105,516千円	426,423千円
普通株式の期中平均株式数	141,591,609株	141,591,582株
希薄化効果を有しないため、潜在株式調 整後1株当たり当期純利益の算定に含ま れなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。